

# 地域おこし協力隊が行く!

2019.12  
Vol.31

## 発見!こんなところで活動しています

### 平井義一隊員のある一日のスケジュール



(農畜産物の生産振興支援) 平成31年4月着任

#### 8:00 とや原ファーム出勤

10カ所ある鶏舎の温度を調べてエサをやり、給水機を洗い、床の手入れをする  
鶏を観察して健康状態をチェックする



#### 12:00 お昼休憩

13:00 堆肥の発酵を促進させるために混ぜたり、電気柵付近の草を刈る  
大きなタンクからエサを米袋に小分けする



#### 15:00 鶏を出荷する

別棟の食鳥加工場から必要な数を聞き、網で1羽ずつ捕まえてゲージに入れて持っていく



#### 17:00 とや原ファーム退勤

今年はワインフェスタや巨峰の王国まつりに出店。平井隊員は炭火焼きの焼き場と接客を通して、信州黄金シャモのPRをしていました!

大久保 真平 (観光地域づくり支援)  
平成29年10月着任



モルドバ共和国大統領一行が東御市に訪訪。ワイン&ピアミュージアムでコンシェルジュを務める大久保隊員が市内のワイナリーなどの展示エリアをご案内していました。

水間 源 (スポーツ振興支援)  
平成31年2月着任

10月20日にオープンしたGMOアスリーツパーク湯の丸屋内プール。合宿に訪れるアスリートの対応等のため、湯の丸と市役所の往復の日々です。



先日の高トレシンポジウムでは、松田丈志さん(2012年ロンドン五輪400mメドレーリレー銀メダリスト)をお招きして、水泳教室が開催されました。

## 隊員通信

藤井 幸子 (文化振興支援) 令和元年7月着任

### 心を浄化してくれる絵画展「永遠の求道 小倉尚人展」

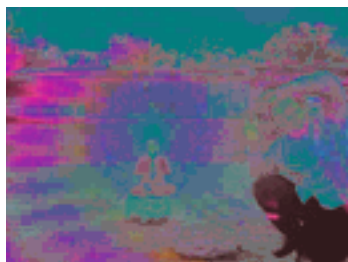
曲線と直線だけで描かれた幾何学模様の世界、小倉尚人の抽象曼荼羅を見ていると、1枚の黒い曼荼羅作品で私の足が止まりました。

その作品を見ていると、あれよあれよという間にその曼荼羅の中に吸い込まれていきます。心の中に現れたさまざまな感情と、自分自身を顧みる作業を繰り返しながらさらに見ていくと、心の雑念がスーッと消えていき、まるで自分が水の中にいるような、体が浮遊した感覚になりました。その後に、仏様たちの優しい表情の仏画を見ると、まるで自分を肯定してもらえたかのような温かな気持ちになり、なんだか救われた思いになりました。

なんてデトックス効果があるのでしょうか!

小倉尚人展は「絵画を体感できる」、そんな絵画展にもなっています。

梅野記念絵画館でしか味わえない、この癒しの宇宙空間をみなさんも体感しにいらしてください! 来年1月14日(火)までです。私も時々受付に立ち皆さまをお待ちしています!!



森学会員と梅野記念絵画館にて

## ゾニーの窓 vol.7

### 「為すことによって学ぶ」 ~Learning by Doing~

この言葉は20世紀初頭に活躍したアメリカの哲学者ジョン・デューイ(1859-1952)が主張した経験論の中の言葉です。



上蘭 美千代

(スポーツ振興支援)  
平成30年4月着任

この経験論は教科書の暗記中心の学びではなく、「経験をして、それを振り返り、また経験をやる」の繰り返しが必要だという問題解決学習の大切さを主張していて、数年前からよく聞く「アクティブラーニング」の根幹にもなっているそうです。

デューイは、他にも「失敗は一種の教育である」など、教育だけでなく、社会的思想の言葉も多く残しています。100年近く前に主張された言葉ですが、興味のある方は調べてみてはいかがでしょうか。

編集担当・地域おこし協力隊 杉田